

法人理念	✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週木曜日15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	テーマ「水」です。「知覚の発達」 かき氷作りを通して、水の変化を楽しむ。また水の生き物を図鑑で調べ、名称を覚える、クイズに答えるなど楽しみながら知識を深めていく。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	夏の生活の仕方を知り、見守られながら身の回りのことをしようとする ・ 予定を自ら確認しあそび、おやつなど活動の流れがわかる。手洗いの手順がわかり一人で洗う。 ・ おやつ後のブクブクうがいを行う。
	運動・感覚	水あそびを楽しむ 水の特徴を肌で感じる 温かい湯、冷たい水に触れ、温度の違いを知る。また綺麗な水、汚れた水を見る ・ かき氷を食べることで「冷たい」を感じる。 目的に合わせて体を動かす ・ ピッチャーを持ちコップにお茶を入れる。何度かくり返すことでちょうどいい程度のお茶を入れる。 ・ かき氷機を回す ・ お盆に入れて運ぶ・床の雑巾がけを高這いの姿勢で足を交互に出して前進しながら拭く 洗う 絞る・おり紙を折る ハサミを使う（かき氷の制作作り）
	認知・行動	水の変化を楽しむ ・ かき氷作りから、シロップをかけた色の変化を楽しむ、またどのような味がするのか言葉で伝える。 ・ にじみ絵、色水を使って色の変化を楽しむ。 ・ かき氷屋さんを通して、かき氷つくりの手順が身に付き友だちや担任にふるまってあそぶ。 水の生き物を知る。 ・ 海の生き物をカード、図鑑を見て興味を持って覚え、クイズに答えてあそぶ機会も設けていく。
	言語 コミュニケーション	あそびの中で、友だちとの言葉のやり取りを楽しむ ・ かき氷屋さんごっこでは「つめたい氷」「いらっしゃいませ」「何に味にしますか?」「どうぞ」「ありがとう」など応答的な言葉のやりとり自分の考えや思い、体験したことを伝える。 気づい たことを言葉で表現する ・ 「水、氷、飲む、まぜる、汚れる、きれい、石鹸のあわ、空にする、いっぱいにする、ぬるい、あたたかい、浮く沈む つめたい 溶ける」「ざーざー、ぴちょぴちょ」など表現する
	人間関係 社会性	水あそびを友だちや担任と一緒に楽しむ ・ 順番 交代 一緒に使う、チケットを渡す、もらうなど約束事がわかり守ってあそぶと楽しい経験を積み重ねる。 ・ 友だちや担任と一緒に遊ぶことを楽しむ
歌・絵本など		絵本 かき氷 みずとはなんじゃ みず あめふりくまのこ 歌 かえるのうた しゃぼんだま たなばた すいかの名産地 きらきら星 わらべうた ももや
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)		・ 近所の方に振舞うなど交流をする機会を持つ
移行支援		
家族支援		ペアレントトレーニング（7月3日、17日、31日）
職員の質の向上		・ 保育部門中堅研修 ・ 障害児支援スペシャリスト養成プログラム (自閉症スペクトラム障害がある子どもへの教育的支援、注意欠陥多動性障害がある子どもへの教育的支援) ・ ポーテージ早期教育プログラム初期研修セミナー
主な行事等		